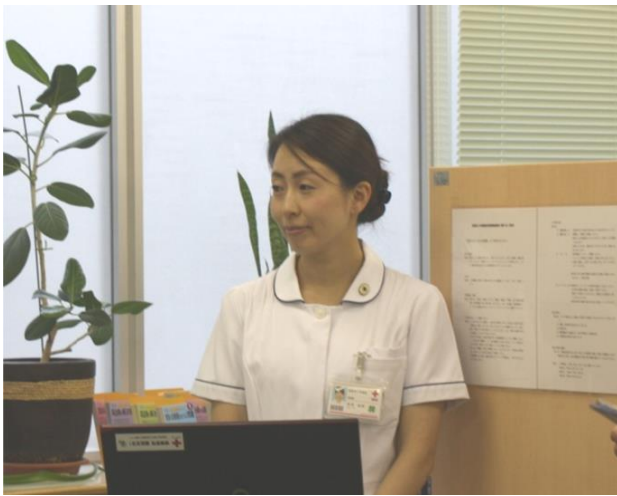


# (H29年度) 第2回 ミニがん教室を開催しました。

★テーマ：『がん患者さんへの接し方・家族ケア』★

平成 29 年 8 月 21 日(月)  
15:15~16:00

❖ 講 師： 緩和ケア認定看護師 池田 ❖  
❖ 座 長： がん相談支援センター師長 坂口 ❖



がんと向き合う大変さは、本人にとっても、本人を大切に想うご家族にとっても違いはないと思います。

ご家族ができることとしては、まず正しい情報を知ろうとすること、また、治療が発展した現代におけるがん患者さんの捉え方を知る事も重要です。

がん患者さんは、診断を受けた時から最期を迎える時まで、患者さんとしてだけでなく、「がんサバイバー」として人生を生き抜いていく存在です。その「**ちから**」を高めていくための接し方について、幾つかの例をお話させていただきました。

じっくり話を聴くこと、いつも通りを保つこと、時には少し先の事を一緒にイメージすること、というような日常生活での家族の関わりは、とても大切な意味を持つものです。

がんサポートセンターでは、それぞれの患者さんやご家族の持つ「**ちから**」を大切に、それぞれに合った方法を一緒に考えながら歩み続けていきたいと考えています。

## 一緒に少し先のことをイメージする

今度の治療が終わったら、好きなのところに出かけようね

来年の孫の七五三にはみんなでおしゃれしようね

もうすぐ手術から3年経つから、家族でパーティーしようか



具体的な生きる目標は希望につながる



## 次回お知らせ

(H29 年度 / 第 3 回)

日 時： 10 月 16 日(月) 15 時 15 分~16 時

テーマ：「がんとお金の話」

講 師： 当院 医療社会事業課長

会 場： からだの図書館

※当日参加可※参加費無料※どなたでも参加自由です※

★当院は国が指定する「**地域がん診療連携拠点病院**」です。

がん対策は、平成 19 年 4 月に施行されたがん対策基本法の基本理念にのっとり推進されています。そのなかで、厚生労働省は、全国どこでも質の高いがん医療を提供することができるよう、がん診療連携拠点病院の整備をすすめています。

★地域がん診療連携拠点病院には以下の役割があります。

◆専門的ながん医療の提供 ◆地域におけるがん診療連携協力 ◆がん患者さんに対する相談支援及び情報提供

事務局：がん診療連携課(内線 2205)